

電脳交通

株式会社電脳交通 会社紹介資料

2021年 4月 更新

社名： 株式会社電腦交通

代表者： 近藤 洋祐

設立： 2015年12月17日

従業員： 126名 (正社員/派遣/アルバイト合算)

資本金： 100,000,000円 (資本準備金含む)

※2021年4月時点

地方の零細タクシー会社から生まれたベンチャー企業



私はアメリカ留学時代、「Map Quest®」というウェブサービスを利用して旅をしていました。当時の最新ナビゲーションサービスでしたが、運転するドライバーにとっては不十分な内容で、道に迷いながらなんとか目的地にたどり着くことばかりでした。

その後、ITの発達により数多くの交通系ウェブサービスやアプリが登場し、効率化されていきました。スマートフォンさえあれば、いつでもどこでも迷うことなく、目的地へ到着できる時代となりました。

2009年、私は地元徳島へUターンし、家族が経営する小さなタクシー会社「吉野川タクシー」へ入社しました。人口減やモータリゼーションの影響により、地方の交通業界は衰退を続けており、私が入社した会社も平成元年より25年連続で売上高が減少していました。

私は事業継承し、経営再建計画の骨子案に、「ITを積極的に経営に取り入れ、顧客に寄り添ったイノベーションを起こし、人々に新しい移動する価値を提供する」と書きました。その後幸いにも経営再建に成功し、多くのメディアに取り上げられ、全国のタクシー会社から視察が相次ぎました。

タクシー台数9台の、地方の小さなタクシー会社から生まれた様々なITサービス。

「このサービスを全国の中小タクシー会社へ提供し活用できれば、同じ課題を抱える地域の交通機関の衰退に歯止めをかけられるかもしれない」その思いから、電腦交通は誕生しました。

株式会社電腦交通 代表取締役社長 近藤洋祐

経営陣



CEO
近藤 洋祐

メジャーリーガーを目指し18歳で単身で渡米。その後祖父の経営する廃業寸前だった吉野川タクシー有限会社を27歳で承継し、再建を果たす。その中生まれたアイデア「クラウド型タクシー配車システム」をCTO坂東と共同開発し、2015年に株式会社電腦交通を創業



CTO
坂東 勇気

阿南高専卒。東京のITベンチャーを渡り歩き、ゼンリンデータコムでは地図情報を扱うエキスパートとして活躍。出身地である徳島にUターン就職後、近藤と共に電腦交通の原型となるクラウド型タクシー配車システムを開発し、創業後CTOに就任



COO
北島 昇

ガリバーインターナショナル（現IDOM）の執行役員として新規事業・マーケティング・人事部門のトップを歴任、クルマの個人間売買サービスや、日本初クルマのサブスクリプションサービスを立ち上げる。東京でのイベントをきっかけに近藤と出会い2019年に電腦交通に参画

沿革

2015年12月

株式会社電脳交通創業

配車システムVer1完成

10月 5億円の資金調達

三菱商事、第一交通産業グループ、エムケイ、JR東日本スタートアップ、阿波銀行、いよぎんキャピタルと資本業務提携

6月 1.5億円の資金調達 Japan Taxi

NTTドコモ、ブロードバンドタワーと資本業務提携

1月 2.2億円の資金調達

「地域交通アライアンス」開始

12月 JR西日本グループと資本業務提携

2月 経営陣にCOO北島戦略顧問日高が参画

7月 第一交通産業グループと業務提携

11月 とくしま創生アワード2016グランプリ受賞

7月 ベンチャー通信「注目の西日本ベンチャー100」選出

12月 徳島県外で初の受注以降西日本中心に事業拡大

5月 **福岡拠点**開設

9月 **岡山拠点**開設

4月 **神戸拠点**開設

11月 東京オフィス開設

21年2月 **東日本エリア拠点**

東京・新宿weworkにオフィス移転

11月 TechCrunch Tokyo 2018
スタートアップバトルファイナリスト選出

2021年3月 30都道府県導入突破
東北エリア本格進出
リモート配車機能正式リリース

2016

2017

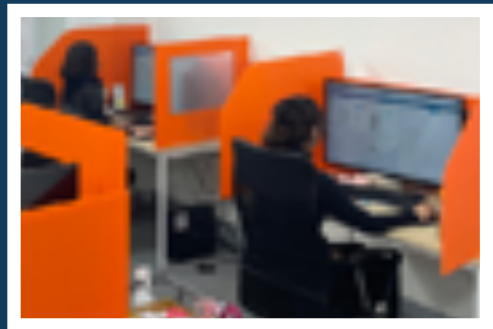
2018

2019

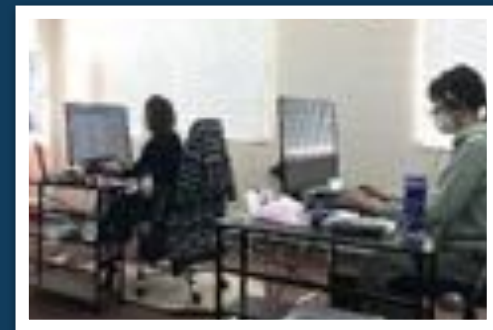
2020

オフィス

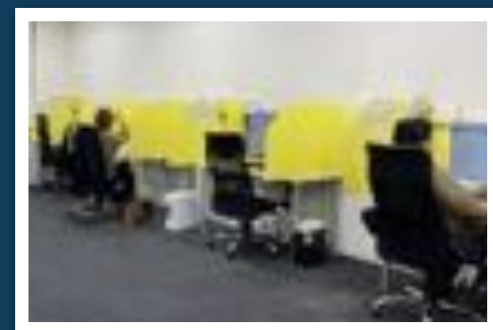
神戸拠点
コミュニケーションセンター



岡山拠点
コミュニケーションセンター



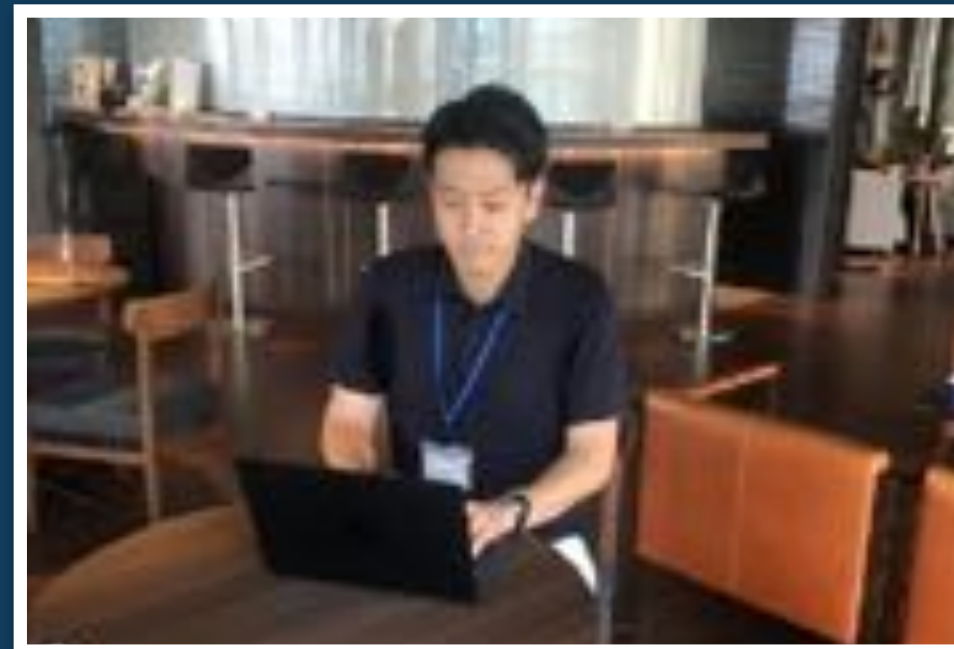
福岡拠点
コミュニケーションセンター



徳島 本社オフィス&コミュニケーションセンター

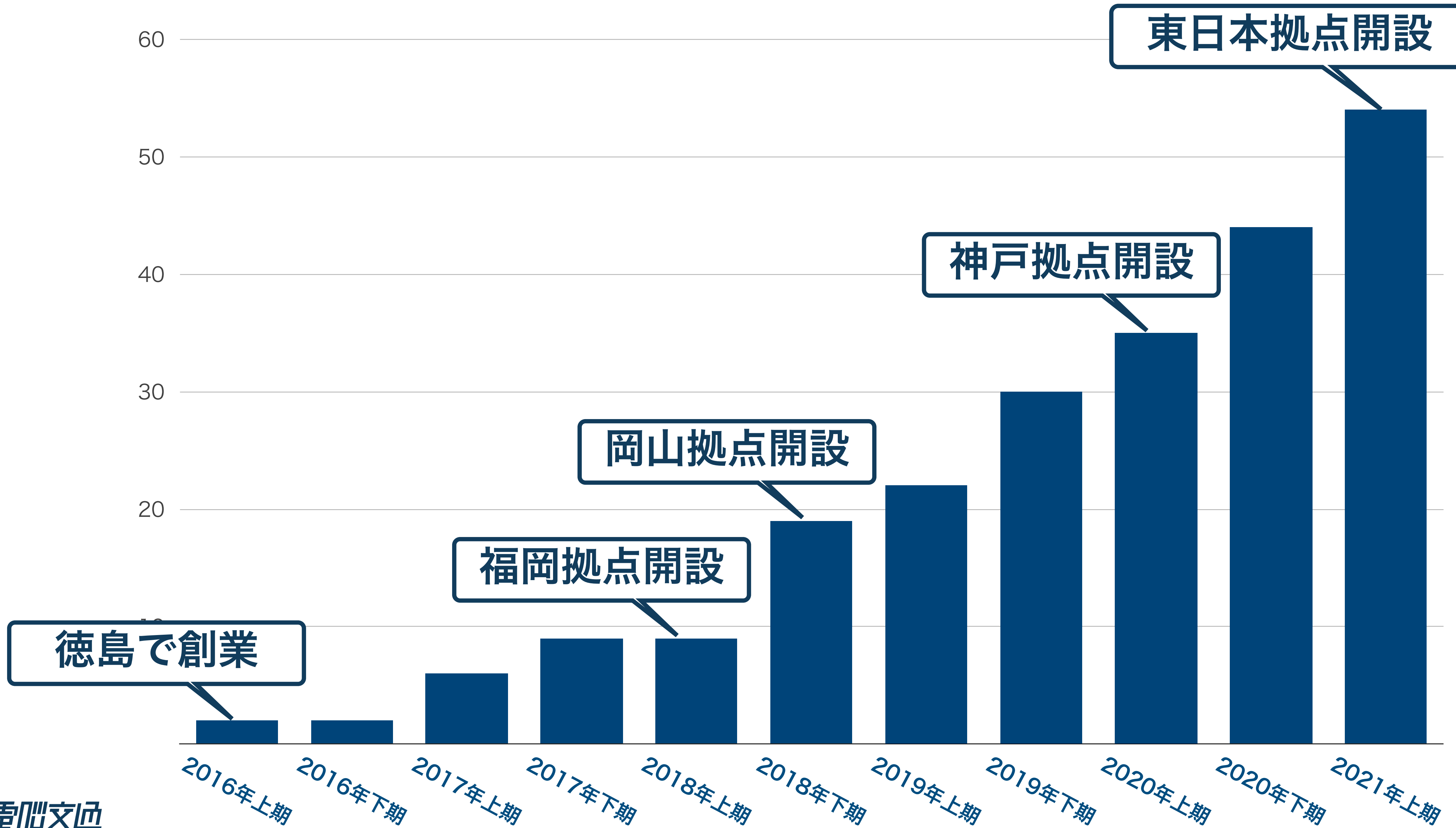


東京オフィス



※コロナ以降、東京オフィスはリモートワーク中心に就業

社員数



組織・部署

取締役

マーケティング&セールス

タクシー配車システムと配車委託サービス提供の営業・マーケティング

ビジネスデベロップメント

自治体・民間企業と共に地域交通の新しいサービスを共同開発

カスタマーサクセス

システム導入前の機器設置や現地でのレクチャー、導入後のサポート

コミュニケーションセンター

自社開発の配車システムを駆使し、顧客から委託された配車業務を担当

開発

クラウド型配車システムの開発・保守、システム全体の仕様策定

コーポレートプラットフォーム

財務経理・法務・人事・採用などバックオフィス全般

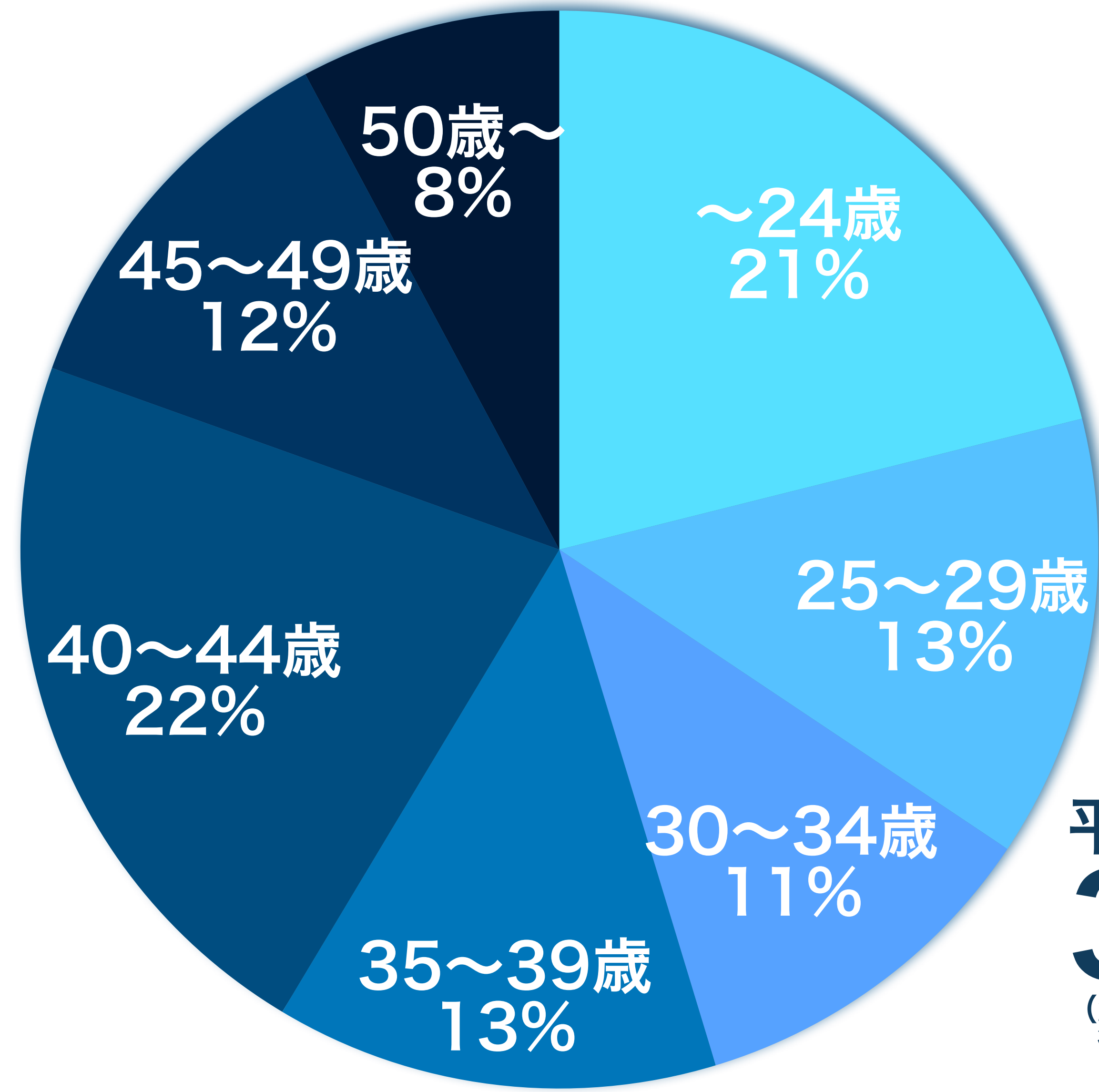
パブリックリレーションズ

広報・メディアリレーションなど外部への発信や取材対応・登壇や講演

ストラテジー&トランスフォーメーション

経営企画機能として全社的な戦略や株主・提携企業との連携を担う

年齢層



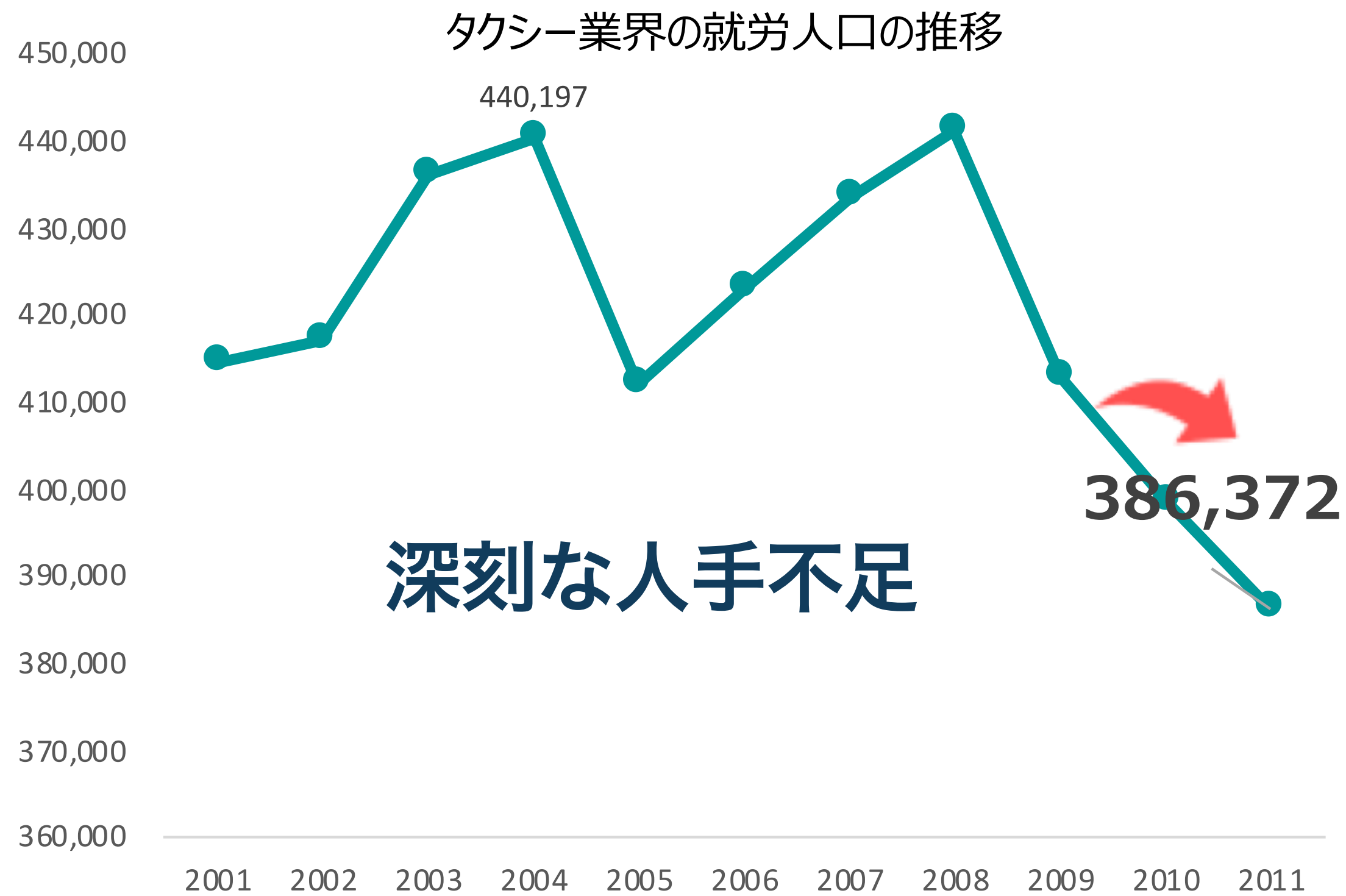
平均年齢
35.8 歳
(2021年4月1日時点の
役員・正社員・アルバイトで算出)

解決しようとしている課題

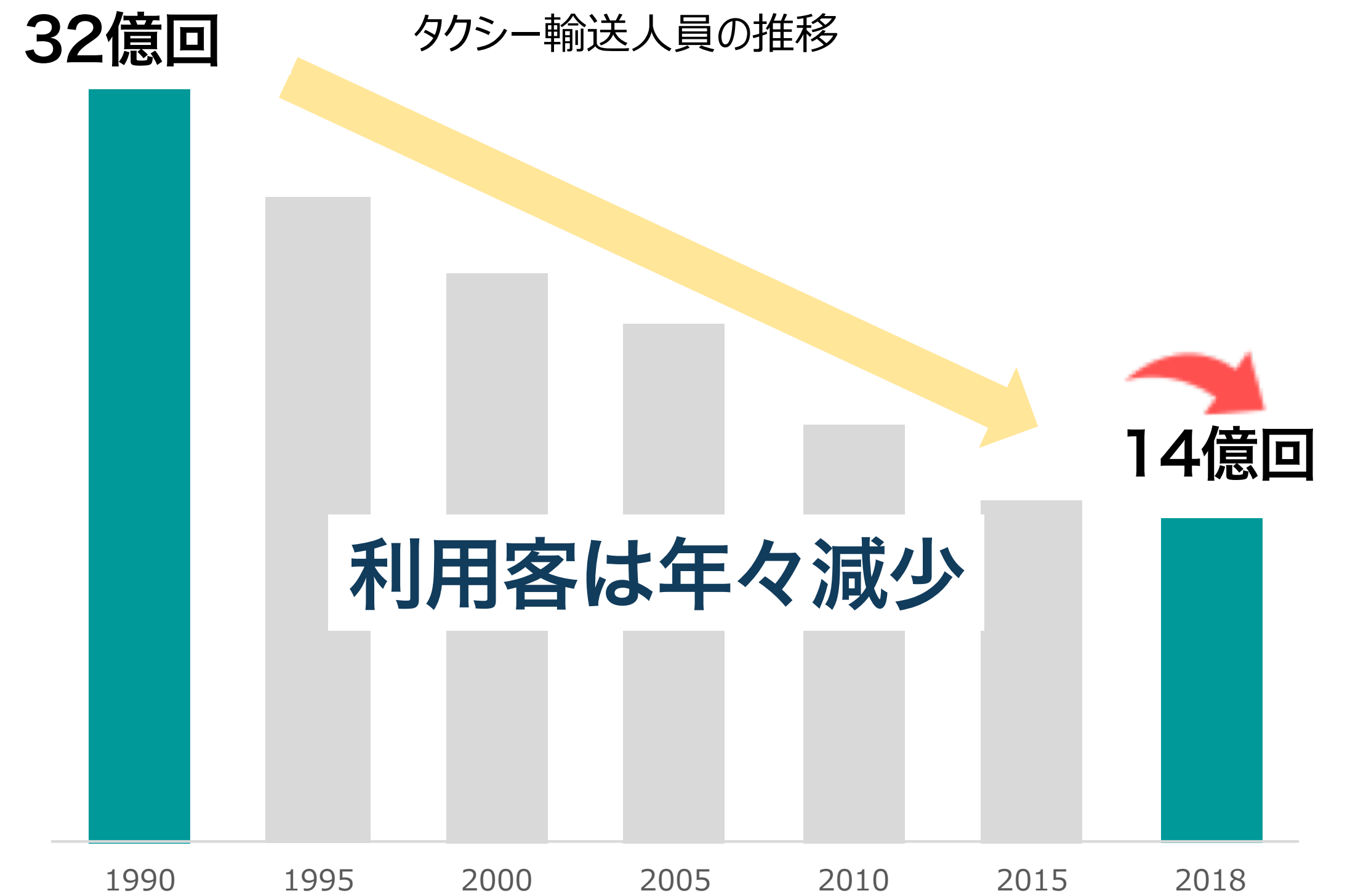
タクシー業界の課題



効率的な業務が求められる



1本の配車依頼がより大切に



業務効率化と顧客満足度の2つがより重要視される時代

タクシー業界の課題

市場の縮小



直近30年で国内市場は
40%縮小

従業員高齢化



平均年齢**60.0歳**
(全産業平均 43.8歳)

進まないIT化

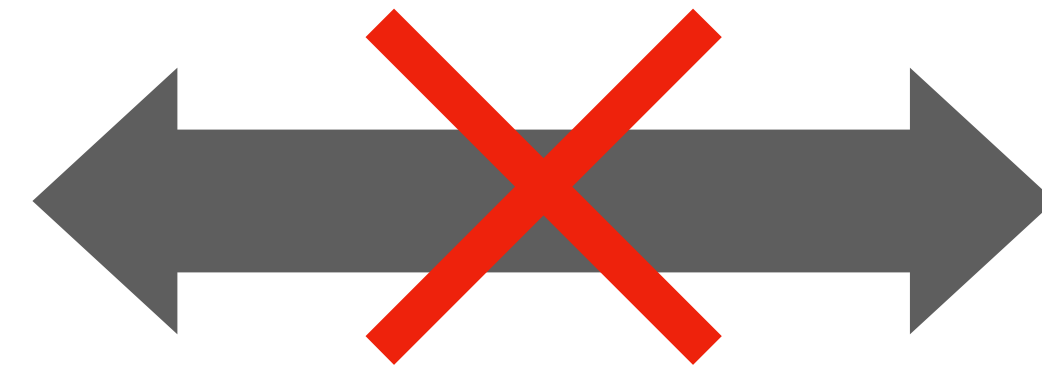


地方の配車業務**75%**が
電話や無線を使用

配車アプリの普及はわずか2~3%、現場とも連動しづらい



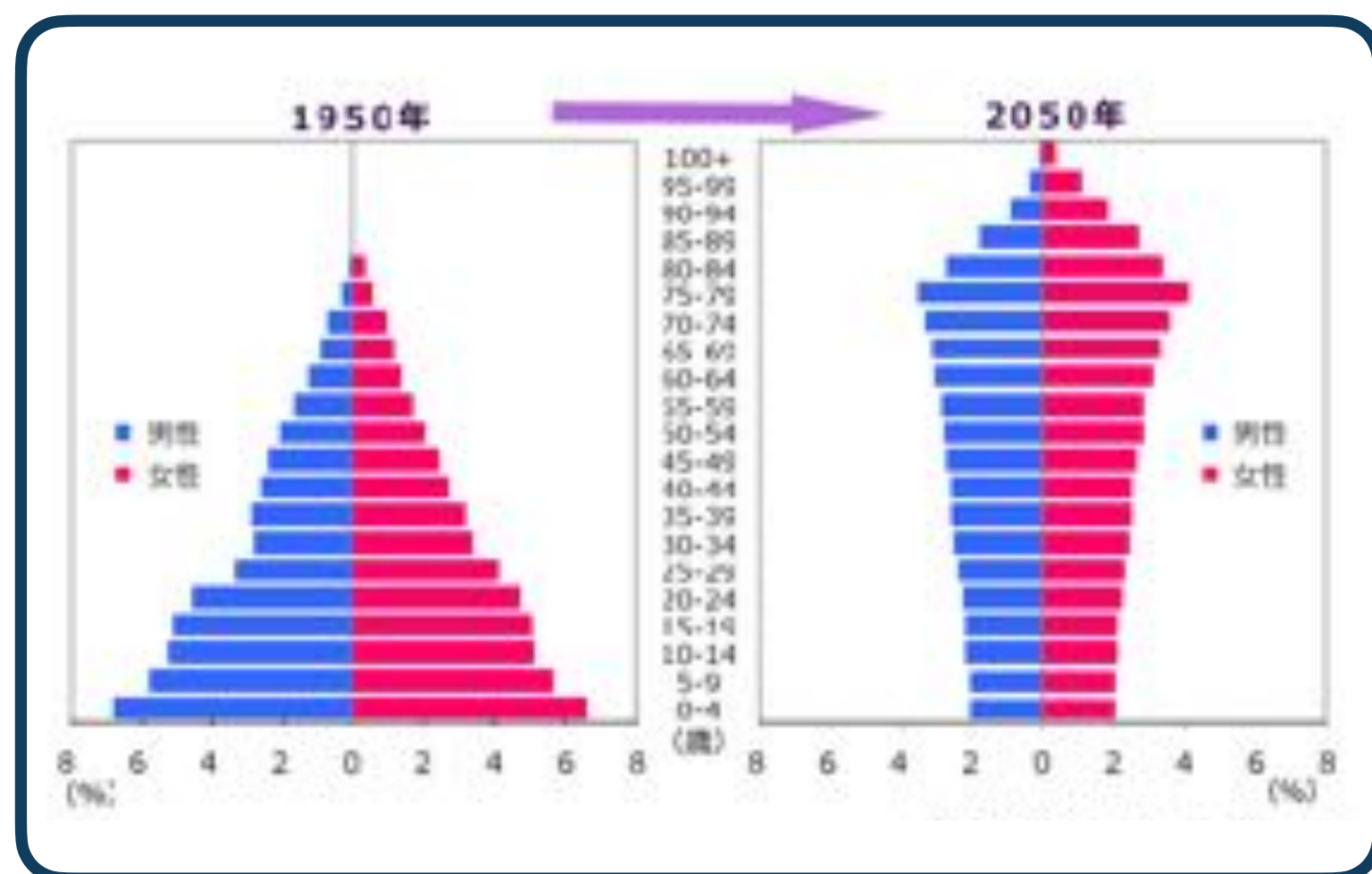
既存のタクシー配車システムはデータの共有/交換ができず最新のコンシューマー向けサービスとの連動ができない



現場は無線などアナログ中心ITに慣れていない従業員多数

地域交通の課題

人口減少・高齢化



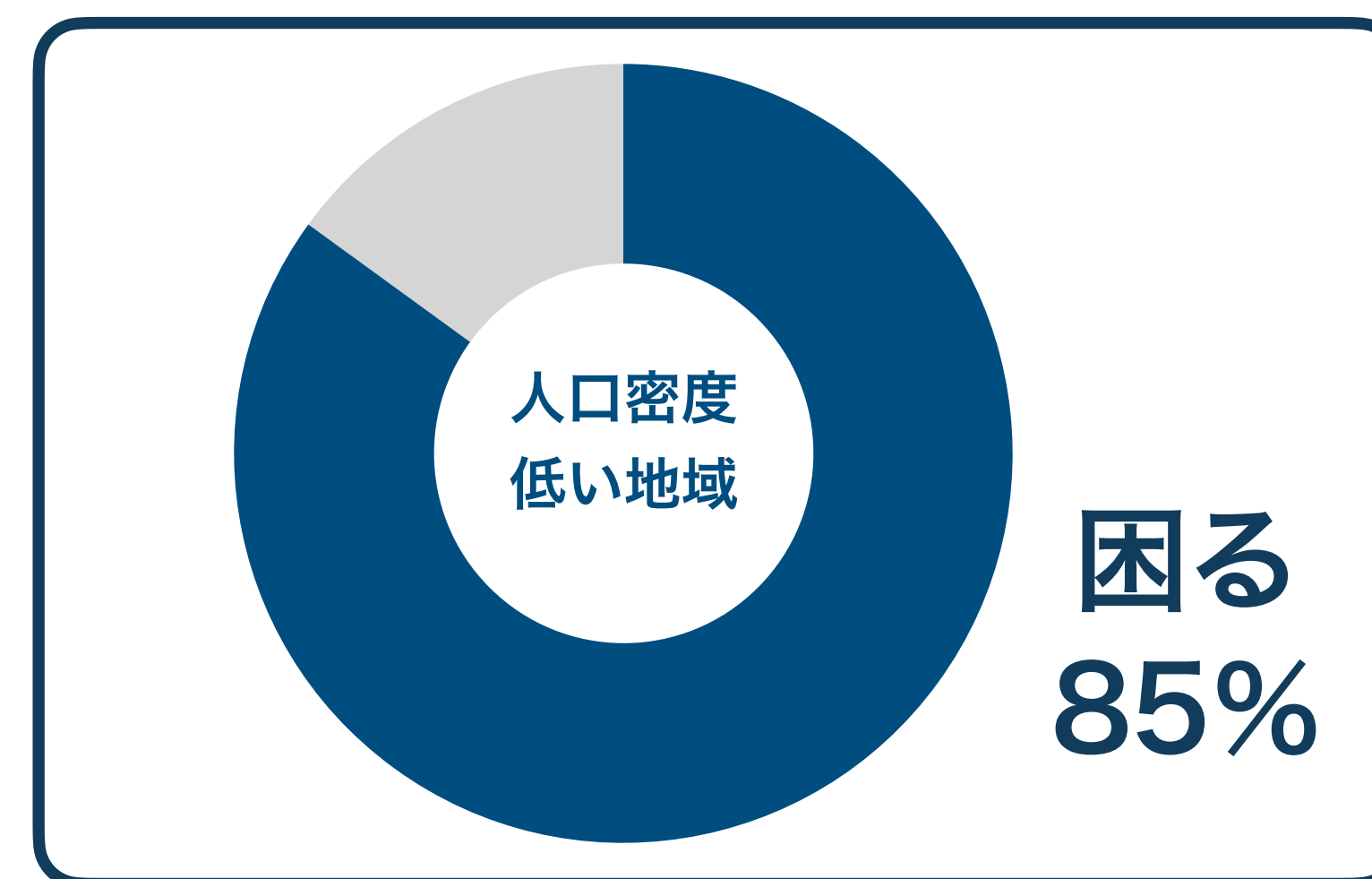
2045年には人口の
60%が65歳以上

既存交通インフラ の撤退・縮小



地方のバス・鉄道は
70~80%が赤字

高齢者免許返納



人口密度の低い地域では
85%が車が必要と回答

タクシー事業者の分類



ポジション

業界大手

中規模

小規模

タクシー台数

1,000台以上

100台以上

10台前後～

現状・課題

配車システムのコスト膨大
営業収入を伸ばしたい
経営改革したい

配車システムのコスト大
営業効率を上げたい
間接部門のコスト増大
複数エリアの営業所統合
M&A先のシステム統合

配車システムは高価で使えず
事業の存続が第一
長時間労働などの負担
採用・育成ができない

事業について

① 「電腦交通」 低価格・常に最新のクラウド型配車システム

パソコンとインターネット環境があれば配車業務が可能
「電腦配車OS」



1台で配車指示・ナビゲーション・音声通話に対応
「電腦タブレット」



実務経験を反映し、配車アプリ経由
も無線にも対応した低価格
オペレーションシステム

ITに慣れていない高齢者や土地勘のない
ドライバーも使いやすい優れたUI

小さなタクシー会社から生まれたシステムの強み

クラウド型配車システム 「電腦交通」

配車オペレーター用「電腦配車OS」



ドライバー用車載端末「電腦タブレット」

初期導入コストが安い

オンプレ型のような初期費用が数千万円かかるコストはありません。
またクラウド型SaaSのため日々の機能追加時に逐一費用を請求しません。

柔軟な価格設定

導入するタクシー台数をベース月額費用を算出。大手も小規模事業者も
自分たちの事業規模に合った金額で導入が可能。

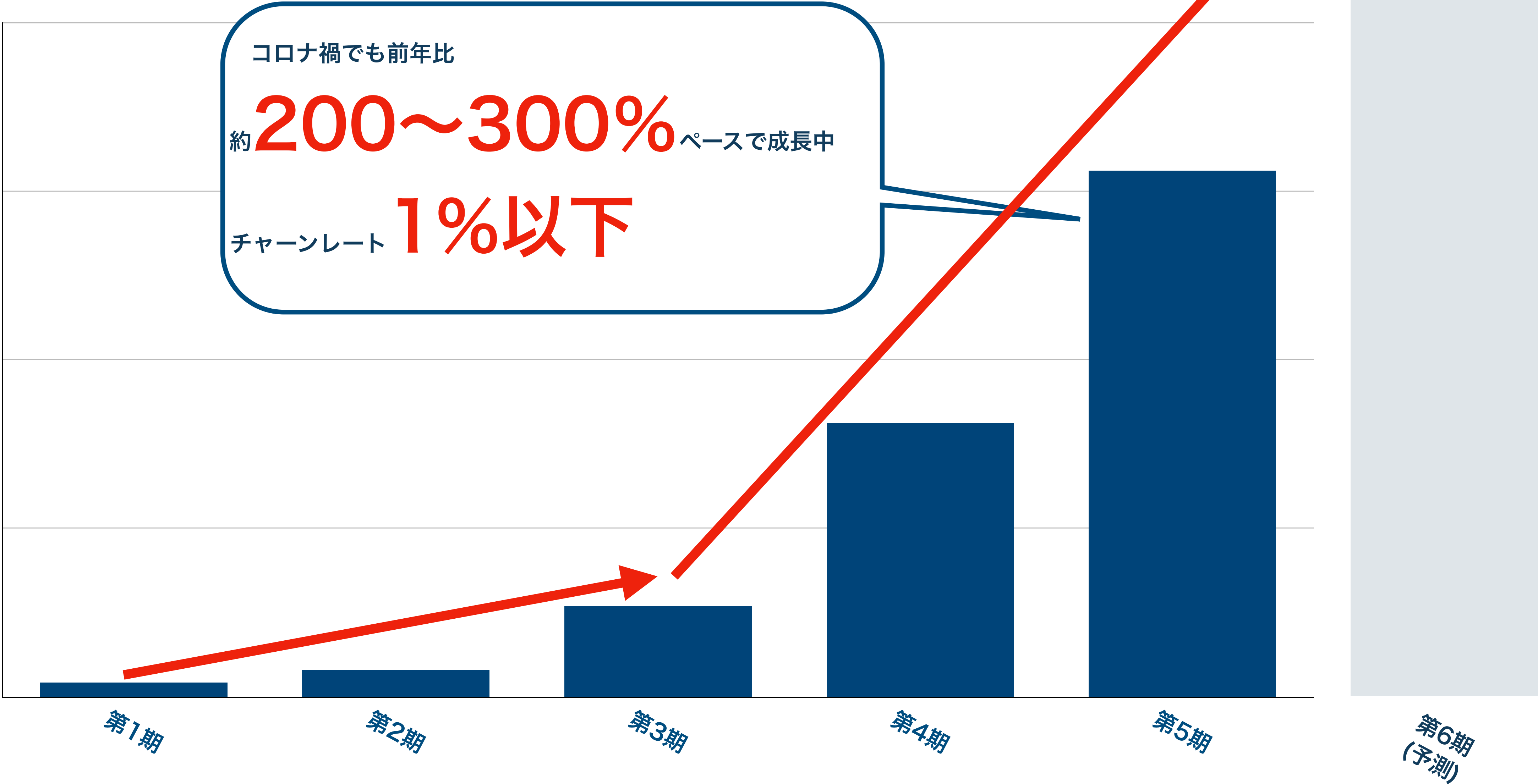
年間100回以上の機能アップデート

自社で配車センターを運営しているため、現場目線で改善すべきポイントを整理し、開発チームへ共有。細かな使い勝手の改善や「リモート配車」
など全国のタクシー会社がほしい機能をいち早く実装しています。

高い拡張性

経営効率をアップするための「配車データ解析機能」や業務効率をあげる
ための「自動配車機能」などを実装済み。今後も決済や配車アプリ連携、
乗り合い機能など多くの機能を実装予定です。

圧倒的な導入実績と支持の高さ



配車システムの強みを活かす、多様なサービス提供

②配車委託「電腦配車室」

配車業務負担を軽減したい
事業者向け



③共同配車構築サービス

経営効率を改善したい
事業者向け



④地域交通ビジネス開発

交通インフラを提供したい
自治体・民間企業向け

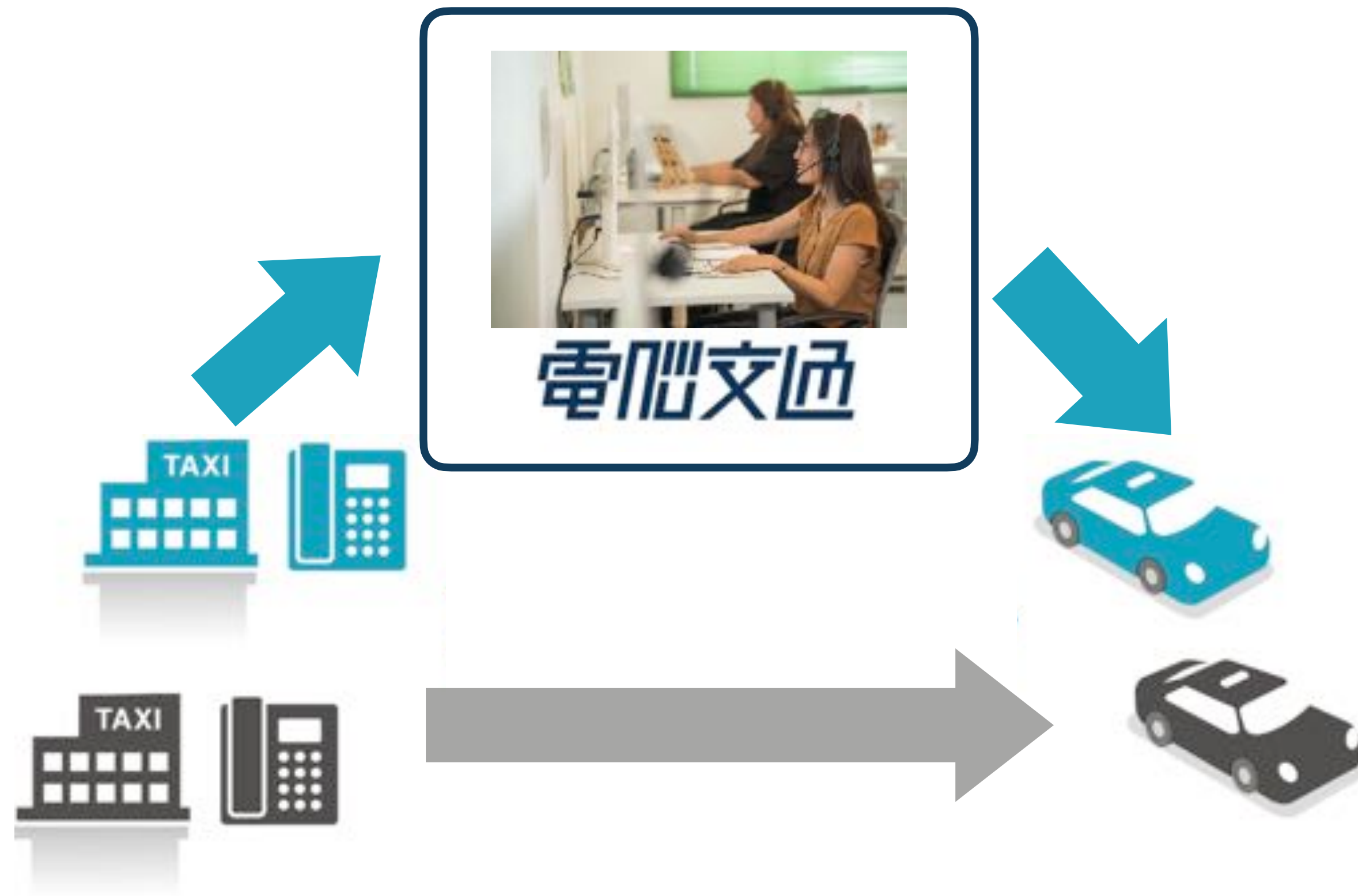


①クラウド型配車システム 「電腦交通」



配車システムの導入支援のみならず、
タクシー事業者や地域交通の本質的な課題解決に活用

② 「電腦配車室」 配車委託サービス



スポットでも24時間でも

スタッフ不足なので土日深夜だけ委託したい、経営の観点から24時間委託したい、など多様なニーズに柔軟に対応。契約後の内容変更も随時ご相談可能です。

大幅なコストダウンを実現

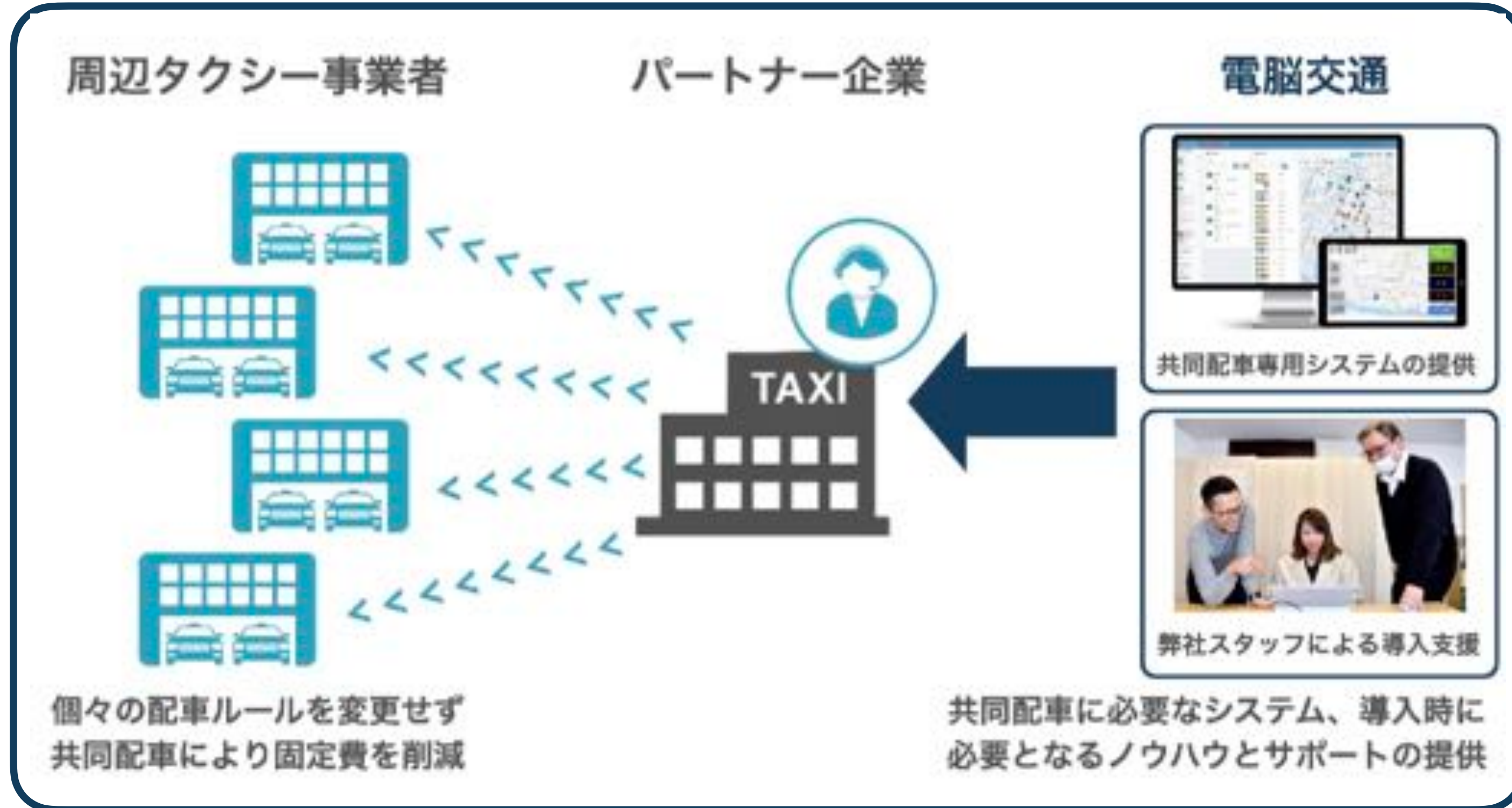
自社で配車業務を行うのに比べ、導入企業では平均20~40%のコストダウンにつながっています。

事業承継問題の解決・QOL向上にも

特に小規模な事業者の場合、社長やご家族が配車業務を行うしかなく、深夜や土日にも働く必要があったり、配車スタッフを採用・育成できないことで事業承継に支障が出るケースが多く、そういった問題を解決することもできます。

**配車業務をBPOしたい中小規模のタクシー事業者のために、
配車システム導入の手助けとなる配車委託サービスを提供**

③共同配車構築サービス



創業以来培った「複数事業者の配車業務を1拠点に集約する」ノウハウを
近隣のタクシー事業者同士での共同配車を実現するサービスとして提供

④地域交通ビジネス開発



地域交通やタクシー会社が求めるサービスを意欲的に開発・外部連携し提供



尾道グリーンスローモビリティ



JR西日本 MaaSアプリ setowa連携



住宅と移動が定額セットの移住サービス



タクシーのフードデリバリー

自治体や民間企業と共に、地域交通に必要なサービス先回りして模索する

スムーズに現場が導入・安心して運用する手厚いサポート



機器の設置から操作方法まで

導入が決まった段階で弊社専門スタッフが現場に赴き、機器の設置方法から操作方法までサポート。確実な運用スタートに導きます。

ドライバーも配車スタッフも

ITに詳しくない・機械操作が苦手な従業員さま向けに、弊社の専門スタッフが丁寧にレクチャーし、導入後も継続サポートいたします。



現場の業務ルールを踏まえた導入

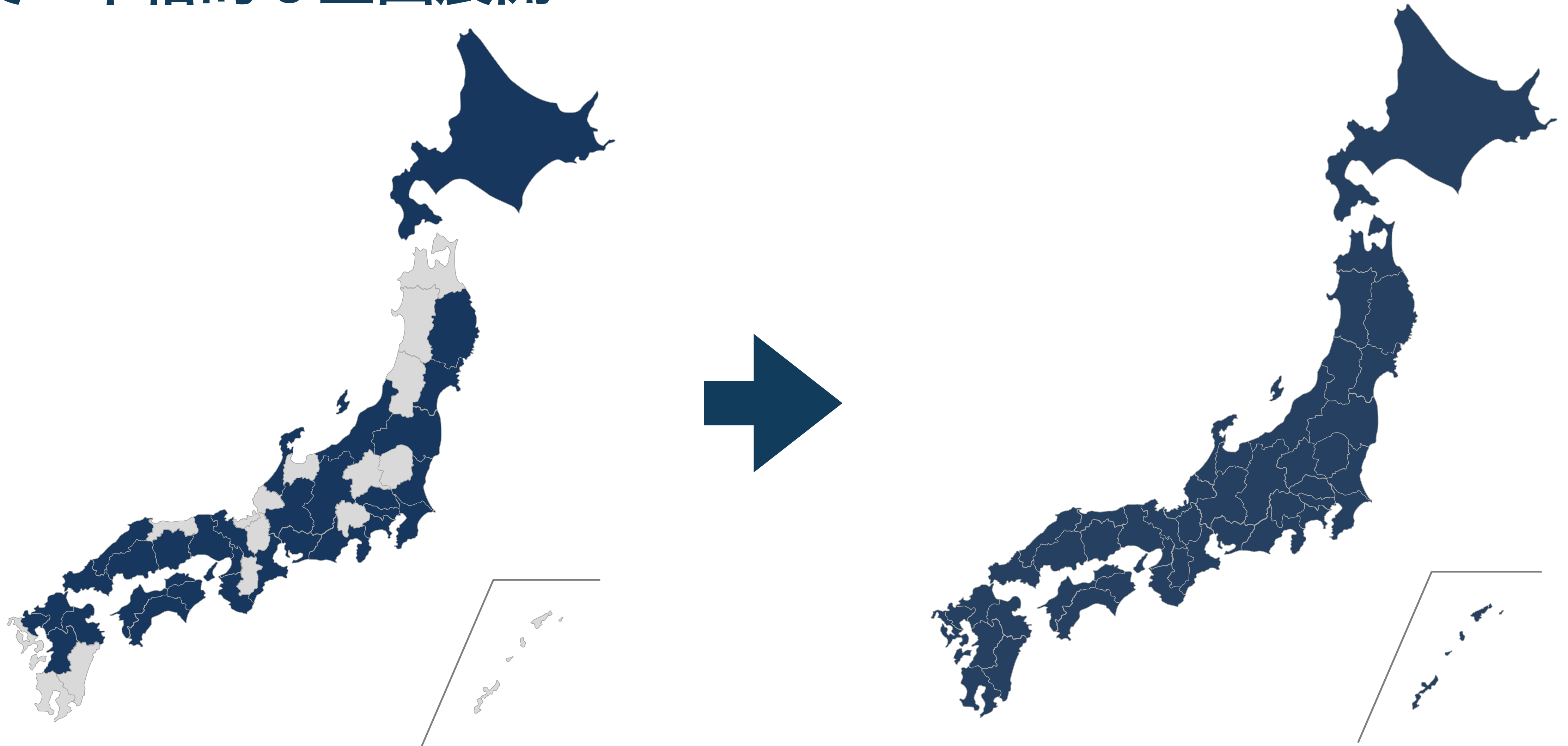
顧客情報のデータ引き継ぎや、普段の運用ルールを事前ヒアリングするなど、事業者さま毎にあった初期設定などを導入時にサポートします。



導入後の継続サポート

トラブル時対応や車載端末の交換対応など継続的な保守・点検はもちろん、ドライバーへの経路指示やデータ解析など導入後も手厚くサポートします。

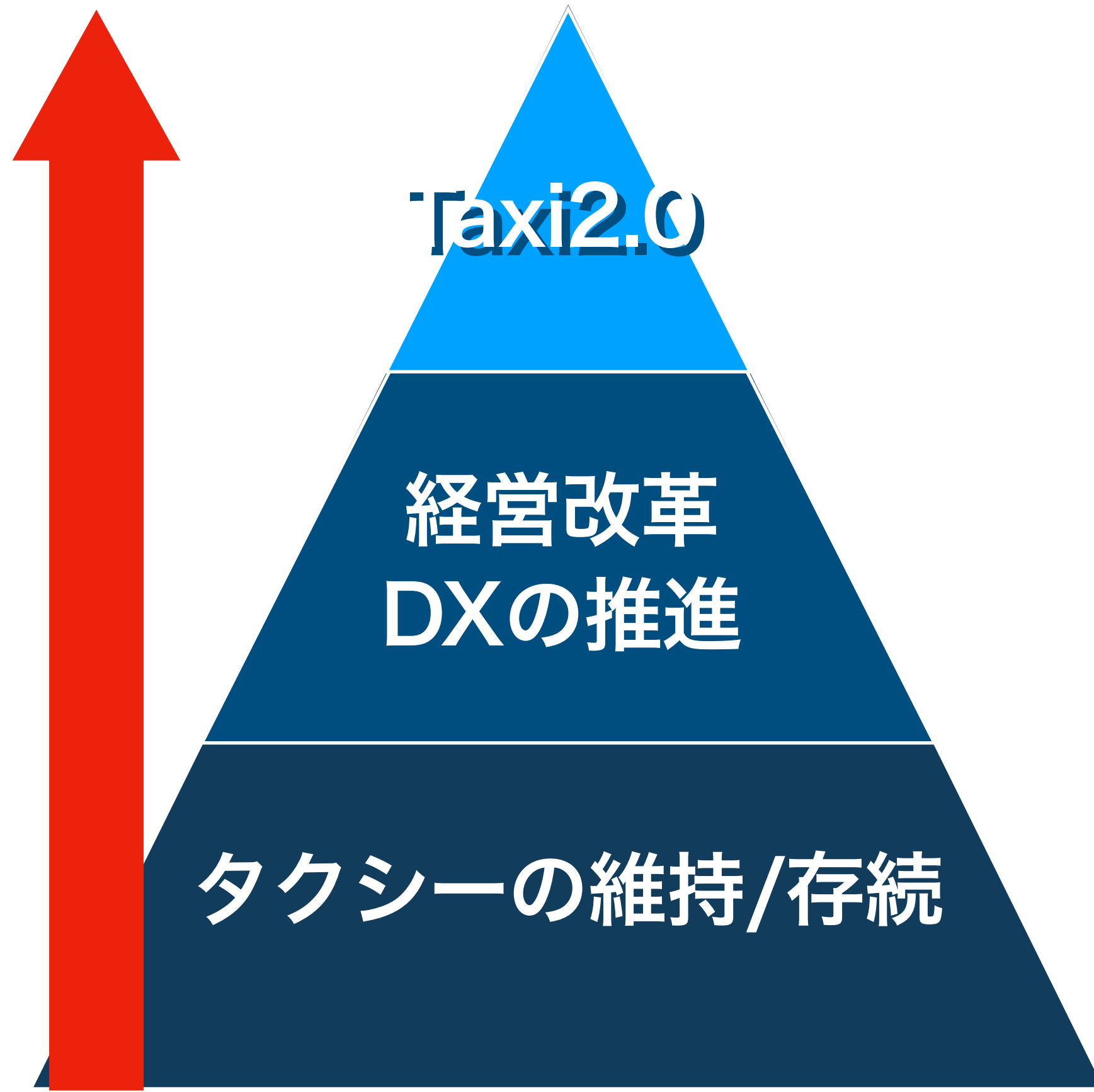
今後：本格的な全国展開



現在32都道府県に普及。今後は全国47都道府県への展開を目指す

※2021年3月時点

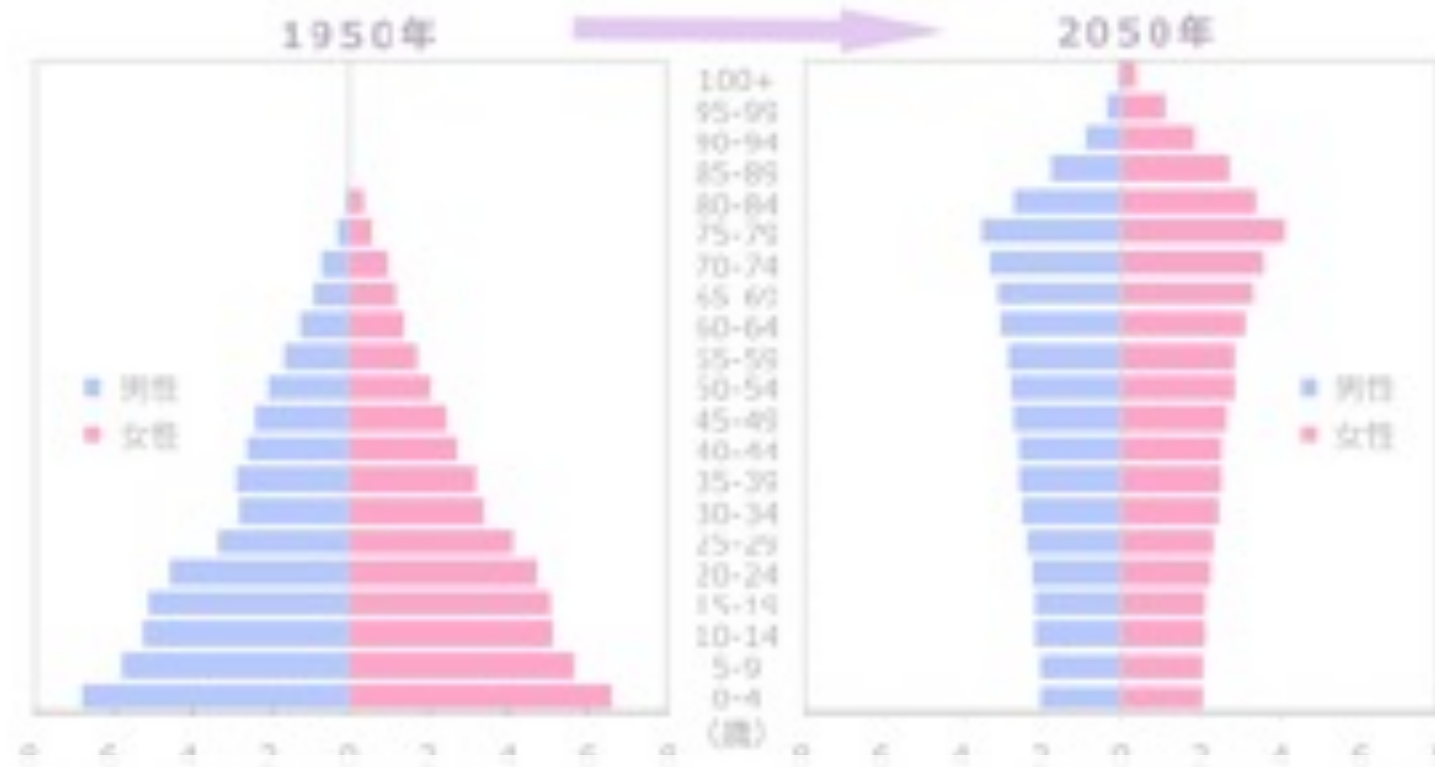
今後：タクシー会社の変革を電腦交通がサポート



次世代のタクシーに必要な並走

目指すは「地域交通のOS」

日本の人口の推移



人類がはじめて経験する「人口減少・超高齢化社会」

電腦交通の事業は、将来の日本の交通インフラを守る事業。

わたしたちの成長が、そのまま「移動の未来」をつくります。



社内について

電腦交通のステートメント

VISION

次世代の「タクシー」を創造し
タクシーと街の新たな関係を構築する。

MISSION

タクシー業界のDXを
技術/実装力/実行力で推進する。

Value

Think & Act - 考えて、動こう -

現状に満足せずに、常に考え抜き、新しい行動に挑戦する。

Commit & Grit - 決めたら、やり抜こう -

思考と行動に強い当事者意識と覚悟を持ち、最後までやり抜く。

Give & Glad - 与えて、喜びあおう -

相手に寄り添い、与えることに喜びを感じ、チーム電腦で高めあう。

。

メンバーは徳島をはじめ、東京など全国から集結



開発 佐竹 恭祐

大阪の大学を卒業後、ゼロから独学でプログラミングを学び香川のECサイト開発に従事。浅いキャリアながらほぼ1人で開発する経験を積み、高校時代の同級生が働いていたことをきっかけに電腦交通に入社。



ビジネスデベロップメント 西本 裕紀

名古屋大学工学部で都市計画などを学び、研究室では交通学を専攻。ナビタイムジャパン、ぐるなびで営業やプロジェクトマネジメントを経験した後、JapanTaxiのマネージャーとして新規事業・企業提携を担当。手触り感のある地域貢献への想いから2019年電腦交通に入社



マーケティング&セールス 井上 智裕

新卒以来一貫して大手金融企業、外資保険会社のセールスを歴任。仕事を通じて知った地域交通の現状に興味を持ち、2020年に電腦交通入社。東京からのリモートワークでセールス全体のリーダーを務める



コミュニケーションセンター 谷 公世

元ローラースケート日本代表。大学在籍時にアルバイトとして2017年入社、その後正社員として入社、一貫してコミュニケーションセンター業務を担当。2020年からはチームリーダーとして徳島・福岡・岡山・神戸の拠点を統括



コミュニケーションセンター 大村 美樹

福岡出身、福岡の大学在学中に講演で社長の近藤と出会い、福岡の配車センターにインターンとして入社、その後新卒社員として電腦交通に入社し、研修で訪れた徳島での就労を希望し移住。

社員インタビュー



まちに貢献したい、住む人の移動を支えたい

就職活動では大学時代の学問領域に近い都市開発・不動産・鉄道といった業界に関心をもち、ナビタイムジャパンに就職します。地方を始めとしたまちのあり方を良

note



タクシー事業者様との関係を育み、成功を後押しする、カスタマーサクセスの仕事

👍

電脳交通
2020/09/21 09:50

「DXの仕事は一見華やかに見えますが、地道な積み重ねがあってこそです」



東京の大企業から徳島のベンチャーに転職。
「コロナ禍でも泥臭くリモートワーク」

👍 94

電脳交通
2020/09/28 10:00

新型コロナが国内で実行し始めた2020年3月に電脳交通に入社した井上さん。新卒から大手の金融会社、保険会社でキャリアを積み重ね、33歳・4社目で人生初のベンチャー企業に転身。

社内の様子や社員インタビューを電脳交通公式noteで更新中

<https://note.com/dennokotsu>

社内カルチャー

若手もベテランもフラットに活躍

20代でマネージャーになるメンバーも多く、一方で30代40代の経験豊富なメンバーも在籍。熱意と実行力さえあれば、裁量多く仕事を担当し短期間で豊富な経験を積めます。



業界全体の課題解決に、ゼロから取り組む

タクシー業界や地域の交通は様々な課題が山積みであり、IT化も遅れています。前例の無い挑戦の連続のため、仕事の成果がそのまま「業界を変える日本初の成果」になります。

組織の問題は、社員みんなで解決する

情報共有、セキュリティ、リモートワーク、成長中の組織には常にいろいろな問題が起きます。電脳交通にはこうした問題に全社横断で取り組む「D-project」制度があります。

